

平成29年度 事業報告

(一財) 柏戸記念財団

1 営業の状況

平成29年度の業況は、前期から引き続き増収増益となりました。

長洲クリニックはインフルエンザの売上減少がありましたが、既存取引先の売上増加によりカバーすることができました。ポートクリニックは、家賃引下げ交渉成立もあり、大幅な増収増益となりました。

来期も引き続き売上、営業利益共に堅調に増加するものと予想しています。

(表1) 部門別の営業の状況

単位 千円

部門別	売上高			営業利益		
	平成28年度	平成29年度 (当期)	前期比	平成28年度	平成29年度 (当期)	前期比
小倉台クリニック	85,720	84,325	-1,394	-8,970	-10,868	-1,898
長洲クリニック	437,539	448,790	11,251	4,773	1,758	-3,015
ポートクリニック	911,531	923,550	12,019	102,746	131,901	29,156
本部				-40,368	-36,767	3,600
計	1,434,790	1,456,666	21,876	58,181	86,024	27,843

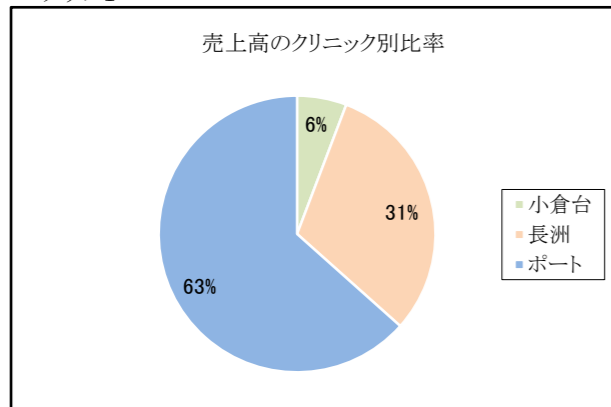
(注) 本部：総務・経理等の共通管理部門

(表2) 収益別の営業の状況

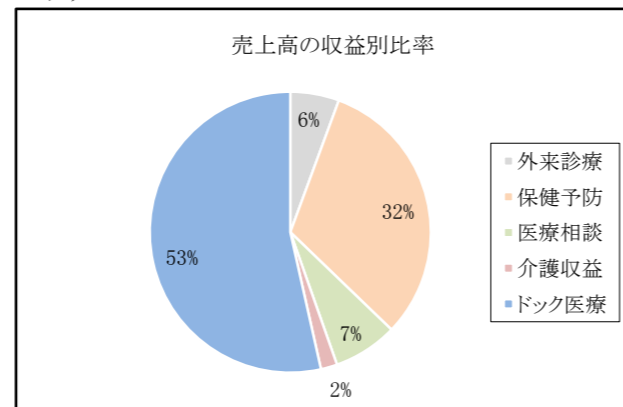
単位 千円

収益別	売上高		
	平成28年度	平成29年度 (当期)	前期比
外来診療収益	82,706	81,730	-976
保健予防活動収益	450,382	459,697	9,315
医療相談収益	104,217	107,724	3,507
介護収益	26,728	27,473	745
ドック医療相談収益	770,296	778,742	8,446
その他	1,236	2,035	800
保険等調整	-775	-735	40
計	1,434,790	1,456,666	21,876

グラフ1



グラフ2



2 業績の推移

売上高は昨年度比22百万円増加し1,457百万円を計上することができました。また営業利益も昨年度比28百万円増加し86百万円となり11期連続黒字となりました。

ポートクリニックへの設備投資後12年経過し新たな投資、修繕費の増加等も予想されますが、管理体制を強化して黒字を続けていきたいと思ひます。

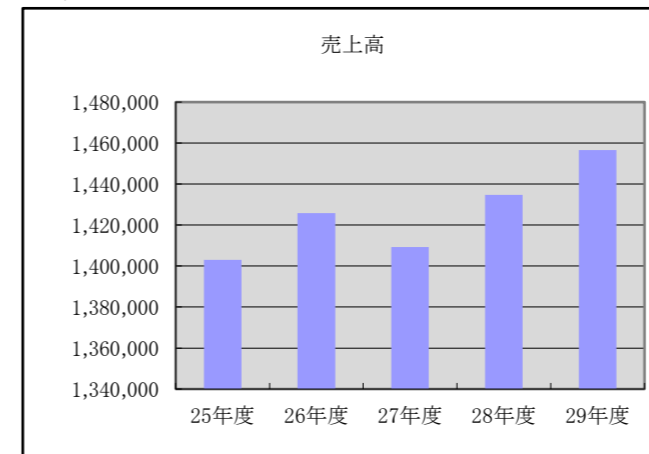
(表3) 業績推移表

単位 千円

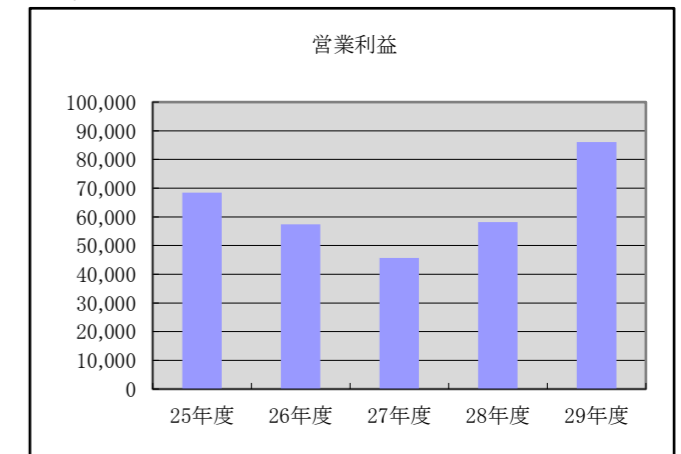
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (当期)
売上高	1,403,020	1,425,765	1,409,225	1,434,790	1,456,666
営業利益	68,401	57,422	45,728	58,181	86,024
経常利益	58,523	55,300	41,292	58,214	83,207
総資産	944,511	963,703	947,524	942,645	951,492

(注) 平成17年度にポートサイドタワー27階に人間ドック施設を開設

グラフ3



グラフ4



3 患者数等の状況

(表4) 患者数明細

単位 人

部門別	平成28年度	平成29年度 (当期)		
		前期比		
小倉	外来患者	12,186	11,455	-731
	デイサービス	2,764	2,789	25
長洲	出張健診	63,864	57,929	-5,935
	来所健診	4,604	5,172	568
ポート	外来患者	3,706	3,640	-66
	ドック	11,413	11,470	57
	健康診断	6,686	6,543	-143
	協会健保	4,109	4,469	360
	生活習慣	6,088	5,730	-358